

## 平成30年度 静岡県校友会総会・ 歯学会学術講演会

平成30年度静岡県校友会総会・歯学会学術講演会が令和元年5月18日（土）、ホテルアソシア静岡にて開催された。総会に先立ち、午後3時半より歯学会学術講演会が行われた。講師に北島佳代子新潟生命歯学部保存学第1講座准教授（74回）をお招きして「ステンレススチール（SS）ファイルとニッケルチタン（Ni-Ti）ファイルを上手に使い分ける」の演題でご講演いただいた。根管治療の3大原則から現在までの手用SSリーマー・ファイルの基本、Ni-Tiファイルの開発からの歴史、根管形成の基本術式など分かりやすく説明いただいた。SSファイルは従来より根管治療に用いられている器具であり、根管形成の基本術式にしたがい行うことができれば根管治療は問題ない。Ni-Tiロータリーファイルは開発当初より幾度となく改良が施され、またSSファイルよりも術者の技量にかかわらず一定レベルで効率的に拡大形成が可能といったお話がされた。今後はそれぞれファイルの長所、短所をしっかりと理解したうえで併用しながら根管治療を行っていくのが望ましい。日頃漫然と行っていた根管治療について改めて再認識させられた有意義な講演であった。

終了後写真撮影を行い、午後5時半より総会が開催された。森田一彦県校友会専務理事（69回）の司会で中野芳周県校友会副会長（62回）の開会の辞、校歌斉唱の後、深谷義裕県校友会会長（61回）より

「2年間の任期中の校友会事業への協力に感謝し、今後は若い校友会会員の発掘をお願いしたい」との挨拶があった。来賓の近藤勝洪校友会本部会長は日頃の校友会の協力に対しての感謝と、母校の近況、会員子弟・知人の本学受験のお願い、会員の減少と高齢化への対応の難しさ等をお話しされた。日歯代議員会報告、県歯報告があった後、本部表彰では2名の米寿表彰が行われ、近藤会長より表彰された。



講師の北島准教授

続いて天野恵夫会員（61回）が議長に選出され、砂田徳保庶務担当常務理事（82回）よりこの1年間の会務報告があった。その後第1号・第2号議案・平成30年度会費および互助会費歳入歳出決算の承認を求むる件、第3号・第4号議案・令和元年度会費および互助会費歳入歳出予算案の承認を求むる件が鈴木美穂会計担当常務理事（76回）の説明ののち、可決承認された。第5号議案の役員改選では次期会長に桐戸眞佐雄会員（64回）、副会長に田村俊彦会員（61回）、竹川 繁 会員（66回）、又平基史会員（68回）が満場一致で選出された。中野副会長の閉会の辞で総会は無事に終了した。

その後懇親会会場に場所を移動し、深谷会長の挨拶の後、来賓として柳川忠廣日本歯科医師会副会長・静岡県歯科医師会会長からご挨拶をいただき、秋庭正長会員（51回）の乾杯の発声で宴が始まった。近藤会長、講師の北島先生を交え、東西に長い静岡県ではなかなか顔を合わせる機会の少ない会員同士が、会場のあちらこちらで和やかに談笑する姿が見られ、これからの静岡県校友会がますます盛り上がる事が期待できる雰囲気であった。懇親会終了後も名残惜しい会員達は、三々五々夜の静岡に繰り出して行った。

（鈴木慶太・78回記）

